



藤本 みのる 通信

Vol 402

2022年12月13日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

小山田信茂公顕彰会が大成功

小山田信茂公顕彰会にとって、2022 年は大きな飛躍の年となりました。逆臣の定説をくつがえす熱意と研究が認められ、山梨県制作の「信茂と勝頼」ショートムービーとなりました。

定説 信茂の裏切りで笹子峠が封鎖され、勝頼は仕方なく天目山麓に逃げ討ち死にし、武田氏は滅亡した

顕彰会 1 笹子峠は封鎖されていなかった。信茂は婦女子家臣を北条方（現在の八王子市）へ無事に逃がした。その後信茂の孫が武田信正と結婚し、武田信興が生まれたが、この人こそ武田家再興の人である

顕彰会 2 「裏切り」は勝頼が信茂に命じたことだと考えればつじつまが合うのだが、2007 年 12 月、上吉田富士山御師小澤志摩所蔵の「武田勝頼滅亡記」と題された「理慶尼記朱校本」を顕彰会主宰・松本憲和が発見し、定説を覆す論拠を得た

県制作『信茂と勝頼』 「農（わし）を撃て。そして首を信長に差し出せ。それが領地領民を守ることになる」「憎まれ役をすまぬ」と勝頼は信茂に命じた

講演会では、長崎知事が大月市内の集会で、「信茂と勝頼」にふれ、「勝頼の命令だったと考えるのが合理的」と述べたと紹介されましたが、こうしたことを機会に国中と郡内の感情的なしこりが消え去ることを期待します。そして大月市の地域おこしも。

小山田信茂公顕彰会
第 6 回講演会
講師 小俣公司 (会長)
& ショートムービー視聴
「信茂と勝頼」(*)
(*) 山梨県が信玄公生誕
500 年事業で制作 (インター
ネット絶賛公開)。全 5 話 (37
分)。信茂逆臣説を改め、「憎
まれ役をすまぬ」と勝頼公に
語らせる気鋭の作品。

【藤本みのる活動日誌】

12月 9日(金) 議会運営委員会(副委員長就任)

12月10日(土) 小山田信茂公顕彰会講演会(大月市民会館)